



平成31年1月24日（木） 岐阜県発表資料			
担 当 課	担 当 係	担 当 者	電話番号
岐阜大学 総合企画部総務課	広報室	伊藤、佐藤	直 通 058-293-2009
産業人材課	産学金官連携係	森（達）	内 線 3292 直 通 058-272-8406 FAX 058-278-2676

岐阜大学と県内企業が連携する実習授業の成果発表会を開催！！

県では、産業界、大学、金融機関と連携して、県内企業の高度技術者等の確保・育成及び定着を支援し、地域経済の活性化を図るため「産学金官連携人材育成・定着プロジェクト※」を推進しています。

その取組みの一環として、大学教員、学生に県内企業の魅力を伝えることを目的に、県内企業の経営者等による講義や、県内企業の課題解決をテーマとする現地実習を、国立大学法人岐阜大学（以下「岐阜大学」という）の授業として実施しています。

このたび、学生による本実習授業の「成果発表会」を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1. 日時・場所

平成31年1月31日（木） 13:00～18:00

ホテルグランヴェール岐山（岐阜市柳ヶ瀬通6丁目14番地）

事項	時間	場所
<プレゼン発表会> ～学生によるプレゼンテーション～	13:00～17:15	カルチャーホール (2階)
<ポスター発表会> ～掲示ポスターを使った質疑応答～	17:30～18:00	鳳凰 (3階)

2. 内容 **※すべて取材可能です。**

○プレゼン発表会

(1) あいさつ 13:00～13:10

- ・岐阜大学代表者 副学長 王 志剛（わん ずがん）
- ・受入企業代表者（株）ナベヤ 代表取締役社長 岡本 知彦（おかもと ともひこ）
（産学金官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会 会長）

(2) 学生による成果発表 13:10～17:15

- ・各グループの授業成果を、学生がプレゼンテーションします。
（28グループ、各7～8分、発表は別添「スケジュール」のとおり）
- ・受入企業において演習課題に取り組んだ22グループについては、学生のプレゼンテーション終了後、企業担当者よりコメントをいただきます。
- ・会場の出入りは自由です。（途中入退場可）

○ポスター発表会

- ・授業成果をまとめたポスターを会場に掲示し、学生がポスターを使いながら授業成果を説明しつつ、適宜、質問等に対応します。

3. 参加予定者

- ・岐阜大学工学部、その他各学部の学生 約150名
- ・岐阜大学 担当教員 約30名
- ・実習授業の受入企業等の経営者、社員 約90名

《参考：授業の概要》

実習事業は、岐阜大学工学部並びに地域協学センターにおいて進めています。

○岐阜大学工学部 「機械工学創造演習・知能機械工学演習 III」

・対象学生

岐阜大学工学部機械工学科 3年生 150名

・授業内容 (全15回)

<第1回、第2回>

10月4日(木)、11日(木) 授業のスケジュール、各演習テーマの説明等

<第3回>

10月18日(木) 受入企業見学会及び企業経営者の講話(場所：各受入企業)

<第4回～第13回>

11月～1月 演習

※対象学生150名のうち、約100名が受入企業にて実地演習を実施。残り50名は大学の研究室で演習を実施。

<第14回>

1月17日(木) 演習成果のまとめ、発表会の準備

<第15回>

1月31日(木) 成果発表会

・受入企業及び演習課題

県内の企業が学生を受け入れ、新たな商品開発や生産ラインの改善等に、学生が取り組みました。受入企業については、別添「スケジュール」を参照ください。

○岐阜大学地域協学センター 「自治体協働型インターンシップ」

地域科学部、工学部、応用生物科学部、教育学部の学生22名が県内企業で活躍する若手社員の方々取材し、企業紹介のレポートを作成しました。このレポートは11月に開催した企業展「オール岐阜・企業フェス」にて来場者へ配布しました。

※産学金官連携人材育成・定着プロジェクト

県、産業界、大学、さらには金融機関が連携し、県内企業の高度技術者等の確保・育成及び定着を支援し、地域経済の活性化を図るため各種事業を展開。

産学金官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会(設立：平成27年9月)がプロジェクトを推進。

<主な実施内容>

平成30年11月16日(金)・17日(土) オール岐阜・企業フェス(会場：岐阜メディアセンター)
県内企業、学生が一堂に集うプレ就活イベント
出展企業：約400社、来場者：約2,000名

平成30年11月29日(木) 企業と学生の交流会(会場：岐阜大学第二食堂)

[産学金官連携人材育成・定着プロジェクトに関する問い合わせ先]

岐阜県商工労働部産業人材課 担当：森、堀部、田中

TEL:058-272-8406、FAX:058-278-2676

プレゼン発表会 スケジュール

グループ 番号	開始 時刻	演習テーマ	受入企業名
あいさつ（１３：００～１３：１０）			
◆機械工学創造演習・知能機械工学演習Ⅲ 工学部			
１	13:10	配管部材の新製品開発	（株）オンダ製作所
２	13:18	金型・商品のセットの単純化による生産性向上	（株）ハイビックス
３	13:26	流体別最適な継手の開発	イハラサイエンス（株）
４	13:34	動吸振器の開発	（株）ナベヤ
５	13:42	ラップ仕上げ加工自動装置の開発	旭金属工業（株）
６	13:50	製品組立ラインの省力化	三甲（株）
７	13:58	工作機械における主軸組立工程の生産性向上	（株）アマダホールディングス
８	14:06	高真空環境を産業利用するための技術検討	－（学内演習）
９	14:13	メカトロのためのプログラミングとシステム設計の基礎	－（学内演習）
休憩（１４：２０～１４：３５）			
１０	14:35	射出成形用金型の鏡面加工技術の開発	（株）岐阜多田精機
１１	14:43	5G次世代通信用部品の超精密金型技術の開発	大垣精工（株）
１２	14:51	流動解析を用いた鋳物製品の不良率低減の検討	（株）水生活製作所
１３	14:59	組立作業を改善する治具の検討	（株）イマオコーポレーション
１４	15:07	鋳造工程の改善と自動化の検討	鍋屋バイテック会社
１５	15:15	水栓の操作荷重 ～連続自動測定装置の開発とその評価～	SANEI（株）
１６	15:23	生産現場の生産性改善	（株）樋口製作所
１７	15:31	生命現象を人工系に置き換えて考える	－（学内演習）
１８	15:38	GA（遺伝アルゴリズム）によるプログラム演習	－（学内演習）
休憩（１５：４５～１６：００）			
１９	16:00	金型冷却に係る水管熱伝達係数の測定装置開発	（株）黒田製作所
２０	16:08	生産工程中の最適熱使用方法の検討	（株）トーカイ
２１	16:16	流動解析用モデルの開発	（株）ギフ加藤製作所
２２	16:24	新技術開発 ～鍛造加熱材を効率的に”冷ます！”～	アサヒフォージ（株）
２３	16:32	搬送装置の基礎と改善案の検討	（株）エヌテック
２４	16:40	機械学習を用いた組立部品合否判定装置の開発	ミズタニバルブ工業（株）
２５	16:48	自動車生産設備に生きる設備制御演習	パジェロ製造（株）
２６	16:56	流れの可視化	－（学内演習）
２７	17:03	工業デザイン特論	（株）ハイビックス
◆自治体協働型インターンシップ 地域協学センター			
２８	17:11	学生による企業レポート	－